

なかせんだううおーく
11月2日 中山道往来ボランティア

さわやかな風が駆け抜け、肌寒さを感じるようになった11月ですが、この日は気持ちのよい秋晴れが広がりました。

日吉町の細久手宿から御嵩宿までの約12キロメートルを歩く「中山道往来」が今年も開催されました。瑞浪北中の生徒がボランティアとして参加しました。

ウォーキングに訪れる参加者をもてなす「皇女和宮行列」と、コースの途中でその疲れを癒す「茶屋娘」が中学生の役目です。



皇女和宮行列が参加者をお迎えます。



参加者も行列の華々しさにカメラを向けていました。

「まあ、きれい！写真撮ってもいいかしら？」

尾州家定本陣だった「大黒屋」の前で参加者を迎える行列に、その前を通る人たちが足を止めてカメラを向けます。これから長い距離を歩く人々の心を和ませ、ウォーキングに弾みをつける出会いになっていたよ

うです。

「茶屋娘」はコースの途中で参加者をもてなし、少しでも疲れを癒してもらおうと積極的に働きかけました。茶屋娘の衣装を身に付けていたことも、参加者の興味を引き、タイムスリップした感覚が新鮮であったようでした。

「えっ、中学生が地域の行事に参加して



いるのですか。素晴らしいですね。地域を大切にする中学生なんてなかなかいないですよ。」

参加された方から、こんな言葉をいただきました。さわやかな空気、降り注ぐ太陽の光、豊かな自然だけではなく、地域を大切にする若者の温かさが、参加者の心に大きな感動を残したようです。

